第２部

サロン活動紹介

地域交流型サロン１

1 子ども絵画サロン

サロン運営団体名称：特定非営利活動法人子育て応援・ペンギンくらぶ

開催頻度、開催日	年６回　奇数月の第３土曜日 10：00 ～ 12：00
開催拠点	水戸市福祉ボランティア会館
主な参加対象者	子ども（6 歳～ 15 歳）
１回の参加人数（参加者＋協力者）	18 名
参加費（１人１回あたり）	無料
広報方法	チラシ、ホームページ、ポスター、Twitter、メールマガジン（随時）

開催地域の様子

●赤塚駅北口に位置し、住宅も多く、子どもたちが集まりやすい場所です。
●駐車場も十分確保されており、保護者による送迎もしやすい環境です。

サロンに取り組む動機・サロンの将来像

●学校、家庭以外の子どもの居場所としたいです。
●絵画をテーマとし、大人の考えにとらわれることなく、子どもたちが自分自身で描きたいものを、好きな画材で、好きな色で、自由に描くことのできる場にしたいです。
●子どもたちの感性を守り、子どもの表現を大切にする場としたいです。

主な活動内容

●小中学生が自由に来て好きなテーマで絵を描くことができる表現の場を、年６回設定。
●観察、集中、楽しさ、やすらぎの時間が、感性を磨き情緒も安定させてくれます。
●絵画講師は「描きたい」「表現したい」という想いをサポートしています。

サロンのウリ

●絵画をテーマとした小中学生対象のサロンは全国でも珍しいです。
●絵画を自由に描くことによる、観察、集中、楽しさ、やすらぎの時間が、子どもの感性を磨き情緒も安定させてくれると考えています。

サロン運営上の協力者

●水戸市社会福祉協議会には、開設当初よりサロンの設置、運営についてアドバイスをもらっています。後援ならびに会場の提供についても協力を得ています。

運営費の確保方法

●令和元年、２年度は茨城県共同募金会からの助成を受けました。
●令和３年度は、茨城県社会福祉協議会の助成を受けて運営しています。

コロナ禍でのサロン活動・工夫点

●参加者全員マスク着用、検温の徹底。
●換気に留意するとともに、広い会場を確保し、子ども同士の距離を保っています。
●手洗い、手指消毒の実施。
●使用前後にテーブル、椅子等の消毒の実施。

助成金の活用によりパワーアップした活動

●助成金の活用により、特に資金面、広報面が充実しました。

サロンをやってみて良かったこと

●子どもたちの感性を守り、子どもの表現を大切にする居場所を創ることができ、良かったと思っています。

これからサロン活動を始める方へのメッセージ

●さまざまな形態のサロンができて、子どもたちの居場所が増えると良いと思います。

はんどちゃん運動推進委員・事務局からのコメント

自由に絵を描きながら、同じ時間を共有することで、子ども同士のつながりも生まれてくるのだと思います。
新たな形の子どもの居場所として、これからの活動も楽しみにしています。

地域交流型サロン２

２ サロンよつば会

サロン運営団体名称：千波地区よつば会

開催頻度、開催日	月４回 ９：30～11：30
開催拠点	千波市民センター
主な参加対象者	・60 歳以上高齢者 ・60 歳以上高齢者世帯 ・60 歳以上ひとり暮らし、昼間独居
１回の参加人数（参加者＋協力者）	13 名
参加費（１人１回あたり）	100 円（毎回ではない）
広報方法	支援センター広報誌（月１回）

開催地域の様子

●住宅地ですが、高齢化が進み、空き家などが目立ってきました。

サロンに取り組む動機・サロンの将来像

●高齢化が進み、みんな家に閉じこもりにならないように地区で話し合い開催しました。
●今後も、おしゃべりや手芸、スポーツなど支援センターの協力を得ながら取り組んでいきたいです。
●サロン＝たまり場です。単なる安否確認ではなく、幸せを確認できる場所にしたいです。

主な活動内容

●脳トレや体を動かす内容、置物作りなど。

サロンのウリ

●平成 30 年から令和元年９月まで慰問をしてきましたが（踊り、大正琴）コロナでできなくなりました。またできる日をみんな楽しみにしています。

サロン運営上の協力者

●自治会は活動を応援してくれています。
●水戸市社会福祉協議会にはサロン立ち上げから運営まで丁寧に支援してもらいました。

運営費の確保方法

●水戸市社会福祉協議会からの助成金
●参加者からの参加費

コロナ禍でのサロン活動・工夫点

●昨年はほとんど活動ができませんでしたが、少しずつ集まることを再開しました。密を避け、間隔を開けて活動しています。
●近所同士声かけをし交流しています。

助成金の活用によりパワーアップした活動

●輪投げやボッチャ、モルック等指導者のもと色々な運動や脳トレができるようになりました。会員同士の親睦にもつながっています。

サロンをやってみて良かったこと

●会員同士の会話が増え、親睦が深まりました。社会参加活動にも参加協力し、地域との交流が出来た幸せが確認できる場所です。

これからサロン活動を始める方へのメッセージ

●サロンはたまり場　幸せが確認できる場所

はんどちゃん運動推進委員・事務局からのコメント

　令和３年１２月に訪問させていただいた時には、皆様楽しそうに寅の置物を作っておられたのが印象的でした。コロナ禍でしたので、おしゃべりはそこそこに、という状況でしたが、皆で集まって顔を見て過ごせる時間があることが、元気の源だと改めて感じました。

地域交流型サロン３

３ ふれあいサロン　オセロを楽しむ

サロン運営団体名称：水戸市社会福祉協議会五軒支部

開催頻度、開催日	月２回　木曜日 ９：00 ～ 11：30
開催拠点	五軒市民センター
主な参加対象者	・65 歳以上高齢者 ・65 歳以上ひとり暮らし・昼間独居 ・子育て中の親 ・子ども６歳～ ・希望する方はどなたでも
１回の参加人数（参加者＋協力者）	20 名
参加費（１人１回あたり）	無料
広報方法	チラシ、五軒地区広報誌（随時）

開催地域の様子

●五軒地区は他の市街地区域と異なり、一戸建て住宅地が少なく、マンション、アパートが密集しています。高齢者への訪問等に難しい面があり、五軒地区高齢者の交流の場を作ることを模索していました。

サロンに取り組む動機・サロンの将来像

●少しでも五軒地区高齢者の交流の場を広げていきたいとの思いから、R3.7.21 大々的に「ふれあいサロン　オセロを楽しむ」の開校式を実施しました。

●開校式に先立って、地域に 3,000 枚のチラシを配布し、誰もが自由に参加できることを強調し、PR しました。

●その結果、従来のメンバー以外の高齢者の参加もあり、今後更なる PR 活動と改善策を考え、サロンの活性化を進めていきたいと考えています。

主な活動内容

●高齢者の方々や子育て中の親、子どもが集まって、自由に交流したり、オセロを通しての仲間づくりや、地域福祉活動を行います。誰もが自由に参加できるサロンとしています。

サロンのウリ

●関係者からのアンケートや感想等を基に改善していき、持続可能なふれあいサロンの運営を考えています。五軒地区ならではの特徴を見つけていきたいです。

サロン運営上の協力者

●自治会
●水戸市社会福祉協議会
●民生委員

運営費の確保方法

●水戸市社会福祉協議会からの助成金

コロナ禍でのサロン活動・工夫点

●会場に入る前の検温、消毒の実施
●マスクの着用（不着者にはマスクの無料提供）
●オセロゲーム用具の消毒
●換気　世話人による温度や換気の調整

助成金の活用によりパワーアップした活動

●新しいオセロゲームや参考書、消毒液、仕切り板等の購入を行い大変有意義に使っています。

サロンをやってみて良かったこと

●参加者より「家に引きこもりテレビを見ながら暮らしていますが、月２回外出でき、皆でお話ができ、とても楽しいひとときでした」と言われたことが良かったです。

これからサロン活動を始める方へのメッセージ

●高齢の皆様が楽しくお茶を飲みながら世間話が出来、「楽しかったよ」と言われるこの言葉につきます。

はんどちゃん運動推進委員・事務局からのコメント

　オセロは年代問わず楽しめるゲームです。高齢者だけでなく、様々な年代の方が集まって交流できる居場所となるよう、これからの活動を楽しみにしています。

地域交流型サロン４

４ スポーツ健康サロン

サロン運営団体名称：稲荷第一高齢者クラブ

開催頻度、開催日	
屋外サロン **屋内サロン** **そ の 他**	・グラウンドゴルフ公園練習　週３回 （月・水・木曜日　９：00 ～ 11：30） ・グラウンドゴルフ涸沼大会　年５回 （5・9・11・12・2 月　８：00 ～ 15：00） ・ゲームオセロ、輪投げ等　月３回 （水曜日　13：30 ～ 15：30） ・清掃　公園、コミュニティセンター前　月１回 （第４水曜日　13：30 ～ 15：30） ・旅行　年２回（昨年は大子方面・鹿島神宮方面） （9：00 ～ 17：00）
開催拠点	屋外サロン　・東前１丁目道漢坂街区公園 屋内サロン　・東前１丁目東前コミュニティセンター
主な参加対象者	・60 歳以上高齢者
１回の参加人数 （参加者＋協力者）	・グラウンドゴルフ公園練習　10 名～ 20 名 ・涸沼大会　20 名～ 30 名 ・清掃 20 名～ 30 名 ・ゲーム５名～ 15 名（全て協力者含む）
参加費 （１人１回あたり）	・グラウンドゴルフ涸沼大会　3,000 円 ・旅行　2,000 円（１回平均）
広報方法	月報、チラシ、電話等

令和４年１月 18 日　えこみっと清掃工場見学

開催地域の様子

●東前地域は市街地化が進み、区画整理事業によって住宅が増え、約 70％が個人住宅やアパートなどの住宅地になっています。

主な活動内容

●屋外サロン
・グラウンドゴルフ公園練習　週３回
（月・水・木曜日　９：00 ～ 11：30）
・グラウンドゴルフ涸沼大会　年５回
（5・9・11・12・2 月　８：00 ～ 15：00）
●屋内サロン
・ゲームオセロ、輪投げ等　月３回
（水曜日　13：30 ～ 15：30）
●その他　・清掃　公園、コミュニティセンター前
月１回（第４水曜日　13：30 ～ 15：30）
●旅行　年２回（昨年は大子方面・鹿島神宮方面）
（9：00 ～ 17：00）

サロンに取り組む動機・サロンの将来像

●東前地区会長会より高齢者クラブに清掃管理を委託され、平日は場所が確保できたので、サロン取組みの動機となった。
●コロナが収束したら、全員参加で年３回の行事、食事会、芸能発表大会等を復活させ、新たな遊びも考え参加者を増やしたいです。

サロンのウリ

●入会届用紙に必要事項以外に本人の趣味や得意な物を書いてもらい、サロンに取り入れています。
●毎月１回（第１水曜日）役員会を行い、前月の事業報告と今後３か月の事業計画を検討、決定しだい各会員全員に月報を配付しています。
●会費を伴う事業は参加者募集のチラシを配付し責任者が対応しています。

サロン運営上の協力者

●水戸市役所福祉課
●茨城県社会福祉協議会
●水戸市社会福祉協議会
●水戸市社会福祉協議会支部
●東前地区会
●会員各事業責任者及び応援協力者

運営費の確保方法

●水戸市役所福祉課、茨城県社会福祉協議会、水戸市社会福祉協議会、水戸市社会福祉協議会支部の補助金等
●東前地区会お礼
●東前梅の会会員参加費等

コロナ禍でのサロン活動・工夫点

●過去３年間は屋内事業が思う様に出来ず困りました。全員参加の４月総会及び昼食会、７月そば昼食会、顔合わせ昼食会、芸能発表大会は中止しましたが、サロン活動は日数を半分にして実施を続けています。
●コロナ対策を守り、屋外活動を増やしたところ、会員の参加も増えてきました。

助成金の活用によりパワーアップした活動

屋外サロン用具をそろえる事が出来、スポーツ健康サロン部員が増加、旧部員が喜んでいます。

サロンをやってみて良かったこと

●サロン活動部員を増やすには、友人知人に声掛け運動が大事です。

これからサロン活動を始める方へのメッセージ

●「やってみて初めて解る面白さ」
●「スポ活で友人増えるたのもしさ」
●「参加して会話で分かる新情報」

令和３年７月19日　グラウンドゴルフ練習後

令和３年11月24日　大子町旅行リンゴ狩り

はんどちゃん運動推進委員・事務局からのコメント

グラウンドゴルフの大会に向け、また健康づくりのために、皆さん一所懸命練習をされていました。コロナ禍で、室内のサロン活動が思うようにできないと残念そうでしたが、90代の方も参加されているグラウンドゴルフを中心とした活動は、間違いなく皆さんの健康増進に役立っており、地域の大切な居場所になっている様子が伝わってきました。